

シネマズライフ

2015年8月14日発行 第88号 <http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

「ヒーロがお前を嘲笑う」何故だ!

【最近のこれはまずいぞ!】

「懲罰大陸★USA」一九七一年アメリカでは公開4日で上映禁止になり、テレビ界では当時「絶対放映できない」と言われた作品。「フレイクドキヌメンタリー」だそうです。

映画の風景 日本の風景

※日本 広島※

原爆投下後の広島 →



『戦争』の悲劇を描く映画の中でも名作の一つ。『原爆』を落とされた事を激しく責める訳でもなく、自分を責めるのは日本人特有なのだろうか? 『戦争』は『はいけい』。それは日本では当然の事。しかし、いまだに『私利私欲』の為に『戦争』を積極的に行う国も多い。

実は、竹達は美津江と共に原爆に遭い、美津江は家の下敷きになった父を「逃げる!」の言葉のまま、その場から逃げてしまっていたのだ。その為、美津江は自分が「幸せ」になる事を拒んでいたのだが...

「父と暮せば」という映画があった。こんな映画だ。一九四八年・夏、広島は稲妻が走り、美津江は象えながら家に駆け込みその場でしゃがみ込んでしまう。そこへ、押入れに隠れていた父・竹達が生をかける。「一体いつから、ドンビシヤさんをそがいに怖がるようになったんじや?」「お父さん、おっちゃんね」と美津江。数日前から竹達は、美津江の前に現れていた。二人は楽しかった過去の日々の事を語り合う。

『父と暮せば』2004年 日本 監督 脚色:黒木和雄 脚本:池田眞也 原作:井上ひさし 出演:宮沢りえ 原田芳雄 浅野忠信

井上ひさしの脚本が原作。話が進むにつれ父と娘の関係が露わになっていき胸に迫る。ほとんどが宮沢りえと原田芳雄の二人芝居。特に宮沢りえの美しさが際立つ。



↑ 深緑の吉野の山

吉野には、吉水神社という神社がある。南北朝時代が始まったきつかけを作った後醍醐天皇が権力に固執したあまり、あちこち移り住み最後にたどり着いた場所。一度は強大な権力を握った後醍醐天皇にしてみれば、こんな山の中に追いつ込まれ辛かっただろうと思う。



↑ 後醍醐天皇最後の御座所

先日、奈良の明日香・吉野に行ってきた。いつもの事だがこの時期は毎年...、暑い! 明日香はともかく、吉野は山なので少しは涼しいかと思うたが、地元の人でも参るほど珍しく猛暑だったそう。やはり日頃の行動が悪かったか?」

コラム
不憫なほどに不憫な...



↑ 秀吉が吉水神社に作らせた庭

また、ここは源頼朝の弟・義経が頼朝に追われ、しばらくここに滞在し、静御前と別れた場所でもある。桜の季節は本当に美しい山々が満喫できる土地なのだが、後醍醐天皇が失意の内に亡くなった場所だったり、義経が山伏となり、ここから逃げたといわれていて、何故か悲しい伝説の多い不憫な場所でもある。

「人はやはり道を歩かないとだめだ」と思うは次回掲載します。

☆【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介しします!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もみはず。m(_ _)m

『太陽』

スターチャンネル

2005年 ロシア イタリア フランス スイス
監督: 撮影: アレクサンドル・ソクーロフ
出演: イッセー尾形 ロバート・ドーンソン 桃井かおり 佐野史郎
六平直政 草薙幸二郎 品川徹

8月16日(日) 27:00 => 8月17日(水) 5:00 【チャンネル2】
8月22日(土) 8:50 【チャンネル2】

昭和20年、皇居の防空壕。一人で食事をする
昭和天皇。天皇はラジオを聞き人々の行く末を
憂う。やがて御前会議が始まり、陸軍大臣は本
土決戦を望むが、天皇は明治天皇の歌を詠い平
和を望む事を示す。そんな中、天皇は東京大空
襲の夢をみて苦しむ。

やがて、終戦。ダグラス・マッカーサーとの
会談で、天皇はどんな条件でも受け入れると伝
え、マッカーサーもチョコレートを手土産にプレ
ゼントする。…戦争は終わったのだ。

やがて、疎開から帰ってきた皇后に「ある」
決心をつける。

歴史上の人物を描いているロシアの監督が海外
からの見た「天皇」を描く。が、かなり事実と
誤認があり気になるが「人間となった天皇」を
描こうとした所は《なるほど》と感ずる所もある。

天皇・イッセー尾形、皇后・桃井かおりが演じて
おり、好感がもてるから《映画》として納得
できた気がする。

『太陽がいっぱい』

イマジカBS

1960年 フランス イタリア
監督 脚本: ルネ・クレマン 脚本: ポール・ジュゴフ
原作: パトリシア・ハイスミス 音楽: ニーノ・ロータ
出演: アラン・ドロン マリー・ラフォレ モーリス・ロネ

8月23日(日) 8:30

イタリア・ナポリ。
トム・リプリーは友人・フィリップとやって
きた。実は、富豪の息子であるフィリップはイ
タリア中を遊びまわっており、トムは父親から
連れ戻す事を頼まれアメリカからやってきたの
だ。

しかし、フィリップは帰国を拒否し謝礼を期
待していたトムは所持金がなくなり、フィリッ
プに頼るしかなくなる。しかし、フィリップは
トムは疎ましく思うようになり、そんな彼の態
度が許せなくなる。

フィリップにはマルジュという美しい恋人が
おり、トムの前でも遠慮する事はなかった。あ
る日、3人でヨットに乗るが、横柄な態度は変
わらない。そこでトムはある計画を思いつく…

天下の二枚目(古い!) アラン・ドロンを世界的
に有名にしたクライム・サスペンスの傑作。ま
た、ニーノ・ロータの作曲する主題歌は大ヒット
した。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで「感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします!」 貴樹諒音

★次回発行は9月4日。発行予定は第一・三金曜日です。

1962年 日本

監督 脚本: 黒澤明 脚本: 菊島隆三 小国英雄
原作: 山本鶴五郎

『椿三十郎』

出演: 三船敏郎 仲代達矢 加山雄三
小林桂樹 入江たか子 団十郎 伊藤雄之助

ある日の夜。小
さな社殿に9人の
若侍が集まって、
何やら密談をし
ていた。
藩の次席家老・
黒藤と国許用人・
竹林の汚職を、若
侍達のリーダー格・
井坂伊織が叔父
である城代家老・
睦田に直訴したと
ころ、噂
が明か
ない。そ
こで、大
目付の菊
井に訴
えたらど
うに熱
心に聞い
てくれ
るかと
共に戦お
うと約
束してく
れたとい
う。ここに9人が
集まったのも菊井
の指示だ。大目付
の菊井の協力を得
られると勢いづく
9人だったが、そこ
へ「待た」をかけ
た男が一人。
たまたま、奥で
その話を聞いてい
たその男は、「話し
を聞くとその菊井



のほうに怪しい」とい
う。この失礼な男に若
侍達にいきり立つが、
外を確認する様に即
す男。確認すると、確
かに社殿は囲まれてお
り、彼らは驚く。
シヨックを受ける彼
らを尻目に、男は機転
をきかせ彼らを助け
る。しかし、菊井が味
方でないかわつた今、
何をす
ればい
いかわ
らない
からな
い若侍
達を男
はほつ
ておけ
ず、彼
らに加
担する
事に。
そこで
城代家
老・睦
田の家
に向か
うがそ
こには
もう菊
井の手
が回っ
ていた…

『用心棒』に続く三十
郎の三船敏郎のキレの
よさはもちろん、必見
は、城代家老役・伊藤
雄之助とその妻役・入
江たか子。二人のんび
りキャラには癒されま
す。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ88号
※ 発行人: 貴樹諒音 ※
発行日: 2015年8月14日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
※ 告知ブログ ※
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



皆様お休お大事に。
かしこ。

【編集後記】
★ 8月15日が今年も
やっってきた。テレビで
も『終戦特集』多くあ
るが、『今年前にもあ
る』の『終戦特集』の気
合いの入れ方がちがう。
たぶん、『安保法案』
が絡んでいうと思うが、
最近の世界の現状を見
て日本を守るに『平和』
だけでは大丈夫なのか
と思ってしまうのだが、
★ 写真は明日香のモ
イ像ではありません。

